

小沢小学校の ESD 活動

<活動の概要>

- ・「ふるさと小沢と家族を愛する子の育成」を目ざし、地域を理解し、地域を愛し、地域とともに生きる力の育成を目標とした。
- ・具体的には、環境、食育、農園活動を柱に、① 表浜海岸で産卵するアカウミガメにかかわる活動、② ふるさと小沢の名産「小島梨」にかかわる学習、③米や野菜作りを通してふるさと小沢を味わう活動を行った。

・活動の実際

① 表浜海岸で産卵するアカウミガメにかかわる学習（4年）

総合的な学習の時間に、「守れ、ふるさと～アカウミガメ～」をテーマに、学習を行った。海岸清掃でのごみの種類の多さに驚き、地元の海岸である表浜海岸に産卵にくるアカウミガメを守るためには、どのような環境が大切なのか、自分たちでできることは何かについて学習を始めた。さらに、市役所環境保全課の方もお招きし、アカウミガメが産卵できる美しい海岸や自然環境を残すことの大切さを学んだ。



表浜の海岸清掃

② ふるさと小沢の名産「小島梨」にかかわる学習（3年）

校区内に小島梨の生産農家が多いことから、3年生は、「小島梨のひみつを探ろう」をテーマに、本やインターネットで小島梨について調べ学習を行った。また、実際に小島梨の生産農家に見学に行き、摘果作業の様子を観察したり、梨の実ができるころには収穫や袋詰めの様子の見学をしたりした。農家の方には、一年を通じて、梨の世話があることを教えていただき、地域の特産物である小島梨についての理解を深めた。そして、学習のまとめとして、全校に向けテレビ放送で学んだことを発表した。



梨畑の見学

③ 米や野菜作りを通してふるさと小沢を味わう活動（5年）

総合的な学習の時間に、地域教育ボランティアの協力や指導を受けながら、田植え・稲刈り・脱穀の体験をした。また、学校の農園では、全校児童が、サツマイモや大根など野菜の栽培活動を行った。これらの活動を通して、栽培の楽しさや農家の方々の苦勞を知り、地域の方々への親近感や感謝の気持ちを抱くことができた。



稲刈り